Contributions to the floral anatomy of Linaceae 1. Journ. Jap. Bot. **44**: 289-294. —— 1971. Contributions to the floral anatomy of Linaceae 2. Phytomorphology **21**: 64-67. —— 1973. Contributions to the floral anatomy of Linaceae 5. Journ. Jap. Bot. **48**: 205-208. —— 1974a. Contributions to the floral anatomy of Linaceae 3. Curr. Sci. **43**: 226-227. —— 1974b. Contributions to the floral anatomy of Linaceae 4. Curr. Sci. **43**: 391-393. —— 1975a. Contributions to the floral anatomy of Linaceae 6. (in press).

*　　*　　*　　*

Cathartolinum aristatum Engelm. (*Linum* 属に加える説もある。) の花部諸器官の形態とその間の関係を主として管束走向，分岐の面から調査した。

□片野光一・里見哲夫・須藤志成幸・松本幹雄: **奥利根地域学術調査報告書**　pp. 17-90. 群馬県 (1976, III)。主な調査としては明治 27，大正 15，昭和 29 の 3 回しか行われなかった奥利根源流地域に，はじめて加えられた学術調査の報告である。植生編で群集，ことに湿生植生を記述し，植物相論で主な植物種と植物目録とをあげている。とくに奥利根として裏日本種や，湿原の北方系などを列挙したのがよい。一見してフロラは裏日本地域に属することがわかるが，しかも表日本の低地帯に多い種が山頂部にでるなど複雑であることを示している。　(前川文夫)

□加藤久一: **蔵王の自然と植物**　pp. 219 内174ページが plates, (1975. IX) 高陽堂書店，山形 ¥3,000。著者は山形にすみ，10 年余蔵王とその植物の写真をとりつづけて来た。その写真集で，種類を示す写真をその生態を示すように注意してとり，またその排列を，雪どけ頃からはじめて雑木林，スギ林，渓流と渓畔，山地草原，ブナ林，アオモリトドマツ林，高層湿原，森林限界，高山低木林，高山草原，岩壁，荒原という風に生態的に区別しているので理解し易い。写真もよく，印刷もまずまずである。終りに添えた垂直分布の概念図もよくできているし，結城嘉美氏の総説も短かいが要を得ている。　(前川文夫)